

RI第 2820 地区

水海道ロータリークラブ



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度 テーマ

相互の理解と
地域との つながり

2011-2012 年度 RI会長
カルヤン・パネルジー

次回例会予定 2月15日 会員卓話
2月22日 会員卓話

VOL. 49 No.26(通算No. 2307)

2012年2月8日(水)例会プログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

外部卓話

立浪部屋 おかみさん 市川美紗子様



写真提供: 倉持孝幸様 常総市羽生町在住

2011-2012年度

会長 大塚 令 昌

幹事 齋藤 広 巳

創立 1963年9月25日

《例 会 場 ・ 例 会 日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790

常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎ 0297-22-1251

《事 務 所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386

釜久ビル 3F

Tel.0297-30-0875

Fax.0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitukaido-rc.jp/>

2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

例会報告 Vol.49 No.25 (No.2306) 2月1日(水)晴れ (司会 染谷正美委員長)

本例会での主な事項

☆会長挨拶

☆外部卓話 水海道第一高等学校 校長 的場伸一様

ピジター

水海道第一高等学校 校長 的場伸一様

誕生祝



《会員》鈴木勝久会員



諸報告

雑誌委員会 瀬戸隆海委員長

ロータリーの友2月号のご紹介を致します。

横組み P12～ 平和に尽くす会長エレクト ーあらゆる平和のかたちで

縦組み P2～6 新たな国づくりに向けて 東日本大震災を経験して

P17 天寿会員

ご一読頂ければと思います。

幹事報告 斎藤広巳幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会長挨拶 大塚令昌会長



本日は、水海道第一高等学校 的場校長先生の卓話を戴きます。的場校長先生、お忙しい中お時間を戴き有り難うございます。後程宜しく願い申し上げます。

皆様、24年度に入りもう1ヶ月が過ぎました。早いものです。2月のロータリーでは、世界理解月間となっております。そして、世界理解と平和の日とされ2月23日は最初のロータリークラブの会合が開かれた記念日とされ、世界理解と平和の日として遵守されているようです。そして各クラブはこの日、国際理解と友情と平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならないと記されております。詳しくは手続き要覧の93ページをご覧ください。

そして2月といえば「如月」きさらぎとなります。春まだ浅く着物をさらに重ね着をする意味だそうです。そし

2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

てその外には「衣更着」キサラギが呼び名の由来とされているようです。その外「梅見月」「初花月」「雪消月」「ユキケヅキ等があるようです。また2月4日頃が立春です。立春以降に初めて吹く南寄りの強風を、春一番と呼ばれているようです。行事としては3日が節分とされ、節分とは季節の分かれ目とゆう意味があるようです。

最後に、1月25日社団法人水海道青年会議所1月通常総会がホテル野村屋にて行われました。出席を致しましたので礼状がまいりました。ご報告申し上げます。

外部卓話 茨城県立水海道第一高等学校 校長 的場伸一様



本日お招きしたゲスト、茨城県立水海道第一高等学校第27代校長的場伸一先生をご紹介申し上げます。

先生は、昭和28年横曾根新田町お生まれ、水海道一高卒業の後、東京農業大学に進学、遺伝育種学を専攻、卒業後、さらにミシガン州立大学農学部留学、帰国後、上越教育大学大学院にて自然科学専攻をなされました。

昭和52年、県立石原高校教諭を振出し、県内各地高等学校に勤務なされ、現在は県高騰学校文化連盟弁論部長、自然科学部長、県体育連盟卓球専門部長を務められ、また日本植物友の会理事としてご活躍なされておられます。

高等学校の教育現場、さらに県教育センター指導主事としての勤務のほか、ミュージアムパーク茨城県自然博物館には、その建設準備室から係わり、開館後は、主査としてお迎えした皇族方に、ご進講申し上げたり、博物館運営に特段のご尽力をなされました。

先生は、毎朝早起きをされます。午前4時起床。原稿用紙7,8枚の文章を書き上げ、自ら1000部印刷なされ、一高生徒、教職員に毎日配布しておられます。

水海道一高校長の任を拝するからには、入学式、卒業式の式辞のみならず、日々、自らの思いを、生徒、教職員に向けて発信していかねば、との的場先生の強い信念を窺い知る、毎朝の早起きとお見受け致します。

的場先生には、私達のクラブの活動にも、ご理解とご協力を賜っております。

先ごろ、倉持功典国際奉仕委員長年度には、ツウンバRCからの交換学生の水海道一高、一日体験入学に際し、快くお引き受け下さり、当クラブの事業にご協力賜りましたことへの御礼も、申し添えて講師紹介とさせていただきます。

それでは、的場先生ご講演どうぞよろしくお願い申し上げます。



君が持っている可能性は、今、君が考えるよりもはるかに大きい!

今のあなたは、熱い夢を持って、この世界を駆け回り、成長している。その時、君が持っている可能性は、君が考えるよりも、ずっと大きいことに! 君が持っている可能性は、今、君自身が考えるよりもはるかに大きい。それについて詳しく、この報告で!

校長 長瀬伸一

ウザギとカブとタマの生活

ある日、ウザギとカブとタマは、おのれおのれと畑に... (長瀬伸一)

- Q1 もし、あなたのウザギが... Q2 もし、あなたのカブが... Q3 もし、あなたのタマが... Q4 もし、あなたのウザギが...



今、できないこと → 将来、可能なこと = 夢

夢実現の方程式



体・心・常総・日本の教育と健康について

1. ウザギとカブの生活... 2. ウザギとカブの生活... 3. ウザギとカブの生活... (長瀬伸一)



- 1 日本の教育について... 2 大学 日本の大学教育... 3 高校... 4 中学生...

KAIKOU TIMES

Table with columns: スーパーマン・アンパンマン・サラリーマン. Includes a table of numerical data at the bottom.

薬物治療をしるく治療力

うつの女性、散歩で日に日に回復... (長瀬伸一)

2月は世界理解月間です
THE WEEKLY REPORT

出席報告 (登坂 寛委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク	出席率
57名	42名	15名	0名	15名	100.00%

ニコニコボックス 五木田裕一副委員長

入金計 ¥38,000 累計 ¥1,486,000

誕生祝御礼《会員》鈴木(勝)会員

的場校長先生、本日宜しくお願い致します。 大塚会員

的場校長先生、卓話宜しく願います。 齋藤会員

インフルエンザから無事戻れました。的場先生、お久しぶりです。卓話宜しく願います。

石塚(克)会員

本日、海一高、的場伸一校長先生をお招きを致しました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。海老原会員
的場校長先生、昨年今頃は、国際奉仕委員会でツウンバの女の子たちが大変お世話になりました。あ
りがとうございました。 倉持会員

的場校長先生、お世話になります。同級生です。 松崎会員

的場先生、在校中は大変お世話になりました。お蔭様で何とか生きております。 五木田(益)会員
進展がありました。 石井会員

早退します。 横山会員

例会欠席しました。 青木(全)・染谷(秀)・古矢・砂長・古谷 各会員

1月、1カ月例会を欠席致しました。 染谷(昭)会員

会報委員会

青木清人委員長

松崎隆司副委員長

木幡 浩委員

ロータリーについて語る

ロータリーの兄弟・姉妹の皆さん、

昨年の11月、私はインドのコルカタで開催されたロータリー研究会で話をする機会がありました。この研究会は「平和と平和を築くために私たちロータリーの関係者ができる活動のあり方」に焦点が当てられていました。この招待を受けた時、この地域でロータリアンがしていることの全てを知ってはいるものの、自分の主な挑戦は任期中にとどめるべきだろうと考えていた私は、何を話すべきだろうかと考え始めました。

ロータリーについて一度も聞いたことがない

コルカタに到着するほんの少し前に、私はテルアビブで開かれた水問題の会議で話をしました。この会議は、世界各地からやってきたロータリアンとロータリアンでない人たちが一堂に会し、水資源の不足が増大する中で、増加し続ける人口への供給を続けるための数多くの挑戦について討議する、という素晴らしいイベントでした。



2月は世界理解月間です

THE WEEKLY REPORT

ところが、ロータリーの貢献について話を始めるその前に、私は「ロータリーとは何で、自分たちはどのようなことをしているか」について説明しなければなりません。非常に教養の高い科学者、企業家、エグゼクティブといった聴衆ですら、これまでロータリーについて一度も聞いたことがないという方が、大勢いらっしゃったからです。

このイベントを終えた後、私はコルカタで何を話すべきかを再び考え始めました。というのは、平和を築くために私たちがロータリーで行っている多くのことは、私たちが何者であるかという人々の認識の上に成り立っているからです。

私たちのポリオ撲滅活動が大成功したのはなぜでしょう？ それは、ロータリーは政府や他の非政府組織がほとんど足を踏み入れられないような家庭へ、学校へ、そして地域社会へ、私たちが奉仕する人々から信用と信任を得て行くことができたからです。

良い評判が頼り

ロータリーの中で私たちが平和のために活動する時、私たちは条約交渉をしたり道路でデモ行進を行ったりはしません。その代わりに、私たちは国籍や背景にこだわらず、ほかの人々のニーズを自分自身のものとして、共に活動し、それを手本にして平和を築きます。水、公衆衛生、安全、低価格住宅などの不足の問題であれ、教育や医療の不備、あるいはコミュニティ間の生産的で前向きな連携を構築するための要求からくるものであれ、私たちは平和な生活を送る普通に暮らすための人々の能力を混乱に陥れている課題に取り組むことで平和を築きます。私たちが行うすべてのことは、私たちの良い評判が頼りになっているのです。

だからこそ、私たちはみな、自分たちの良い評判を、本当に知られるものにする責任があるのです。私たちは、ロータリーを通して活動するだけでなく、ロータリーについて語って世界に私たちが実施している活動について、私たちがもたらす変化、私たちの基準について知らせることで。私たちのロータリー活動は、より良く、より平和な世界は可能であるという私たちの信念を物語っており、それゆえに、私たちは私たちの声を確実に聞いてもらう必要があるのです。

KALYAN BANERJEE
PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL

Copyright 2003-2011 THE ROTARY-NO-TOMO

Rotary World Magazine Press

ロータリーの友

ロータリーの友事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
email hensyu@rotary-no-tomo.jp